

# 東京グリーンボンドの軌跡

東京都財務局

2022年3月

# ご挨拶

日頃より、都政及び都債にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

「東京グリーンボンド」は、おかげさまで今年度で5周年を迎えることができました。

本資料は、その節目に際してこれまでの歩みを振り返り、今後を展望するために作成したものです。

2017年10月、都は、環境事業を強力に推進すること、都の取組が全国に波及し多くの資金が環境対策に向かう流れを創出することなどを目的として、国内自治体で初のグリーンボンドを発行しました。発行に当たっては、充当事業の所管局への協力依頼や外部評価機関との度重なる調整、発行意義の庁内外への説明など、多くの苦勞がありました。しかし、その甲斐あって、これまで数多くの投資家の皆様にご参加いただいたほか、当初は都のみであった国内自治体による発行も急速に広がりを見せるようになるなど、グリーンボンド市場の活性化にも貢献できたと考えています。

グリーンボンドへの投資は、資金調達的手段にとどまるものではなく、世界的なSDGs推進の大きな流れに参画していただくことができる貴重な機会となります。また、グリーンボンドで調達した資金については、公園の整備や河川護岸の緑化といったグリーンプロジェクトに活用されており、都民ひとり一人にとっても日常生活の中でその効果を身近に実感することができます。こうした発行の意義を踏まえ、既に投資された方は引き続きご参加をお願いするとともに、まだこれからという方はぜひ前向きに検討していただけると幸いです。

都は、今後とも、東京グリーンボンドの発行を通じ、関係者の皆様と共に金融分野からのSDGs推進に努めてまいります。変わらぬご支援の程よろしくお願い致します。



# 目次

## 1 東京グリーンボンドとは

発行意義	…… 4
資金使途	…… 5
発行までのプロセス	…… 6
広報・IR活動	…… 7

## 2 東京グリーンボンドの軌跡

ESG市場の変遷	…… 9
発行実績	…… 11

## 3 東京グリーンボンドの今

充当事業のハイライト	…… 15
過去の充当事業の"今"	…… 20

## 4 投資家の皆様のお声

投資表明の状況	…… 23
投資家の皆様からのお声	…… 26



# ① 東京グリーンボンドとは

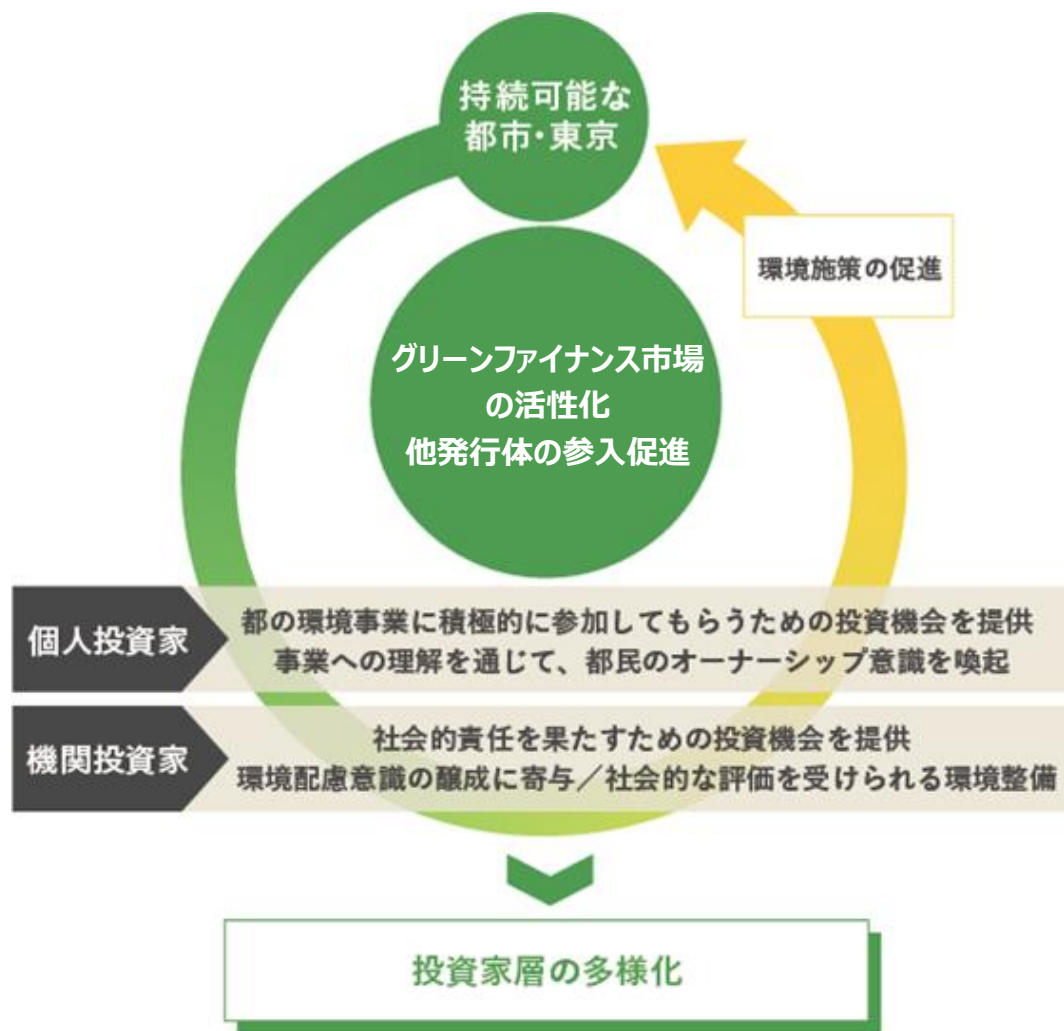
# 東京グリーンボンドの発行意義

～なぜ東京グリーンボンドを発行するのか～

東京都では、発行方針等を定めた「東京都グリーンボンド・フレームワーク（令和4年3月）」において、発行意義を以下の通り位置付けています。

- ①「都民や企業の東京グリーンボンドへの投資を通じ、都の環境施策を強力に推進」
- ②「グリーンファイナンス市場の活性化と他発行体の参入促進につなげ、市場の資金が国内の環境対策に活用される流れを創出」
- ③「個人投資家の都の環境事業への関与・理解を促進し、都民のオーナーシップ意識を喚起」
- ④「機関投資家への投資機会を提供し、企業の環境配慮意識の醸成、社会的な評価を受けられる環境の整備を促進」
- ⑤「都として新たな投資家にアクセスし、投資家層の多様化を実現」

東京グリーンボンド発行を通じ、都の施策の推進に加え、グリーンファイナンス市場全体の活性化に取り組んでいます。



# 東京グリーンボンドの資金使途

～調達資金はどのような事業に使われているのか～

東京グリーンボンドによって調達された資金の使い道は、「東京都環境基本計画（2016年3月）」に基づき設定された5つの環境事業区分に分類されています。

環境事業区分	対象事業（例示）	想定される環境効果
 <b>スマートエネルギー 都市づくり</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 事業所における温室効果ガス削減</li><li>■ 省エネルギー対策・エネルギーマネジメントの推進</li><li>■ ゼロエミッションビークルの普及促進</li><li>■ 次世代交通導入、自転車利用促進</li><li>■ 再生可能エネルギー（太陽光、地熱、水素及び地下水熱等）利用率向上</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ CO2排出量の低減</li><li>■ エネルギー使用量の削減</li><li>■ 再生可能エネルギー利用料の増加</li></ul>
 <b>持続可能な資源利用 ・廃棄物管理</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 資源ロスの削減、環境に優しい素材の利用</li><li>■ 3R、廃棄物の循環利用促進</li><li>■ 環境負荷の低減に役立つ資材の使用促進</li><li>■ 有害廃棄物等の処理促進</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ CO2排出量の低減</li><li>■ 廃棄物排出量の低減</li><li>■ 廃棄物循環量の増加</li></ul>
 <b>自然環境の保全</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 緑の創出・保全（公園整備、都市の緑化推進及び森林整備等）</li><li>■ 生物多様性の保全（海上公園の干潟整備等）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 緑地面積の拡大</li><li>■ 整備面積の拡大</li></ul>
 <b>生活環境の向上</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 水質汚染の軽減、地下水の保全</li><li>■ 大気汚染の軽減</li><li>■ 土壌汚染対策の推進</li><li>■ 道路整備（遮熱性・保水性対策）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 大気・水質・土壌汚染の改善</li><li>■ 遮熱性・保水性の向上</li></ul>
 <b>気候変動への適応</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 都市の気温上昇に対する適応</li><li>■ 洪水や自然災害への対応</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 気温上昇に対する適応能力の向上</li><li>■ 洪水や津波、都の他の自然災害への対応能力の向上</li></ul>



# 東京都グリーンボンド発行までのプロセス

～東京グリーンボンドはどのように発行されているのか～

東京都では、概ね以下のようなフローで準備を進めています。発行部署である財務局を中心に、充当事業を所管する各局や販売を行う金融機関と密に調整することで、円滑な発行につなげています。

発行額・充当予定事業の決定 (約半年間)

フレームワーク策定 (2カ月程度)

外部評価  
の取得  
(約半年間)

投資家への  
説明  
(1カ月程度)

条件決定  
・発行  
(2週間程度)

## 庁内各局との調整

- 次年度の予算編成を通じ、都債・東京グリーンボンドの発行額を決定
- 同時に、財務局において庁内各局と協議しつつ充当予定事業を選定

## 環境部署との調整

- 環境局と協議しつつ、資金使途やレポート内容等を定めたフレームワークを策定・公表

## 評価機関との調整

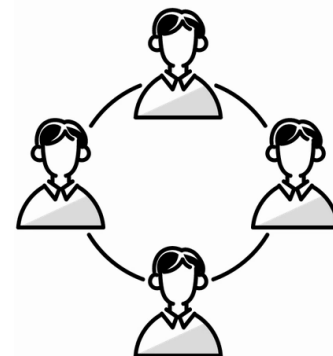
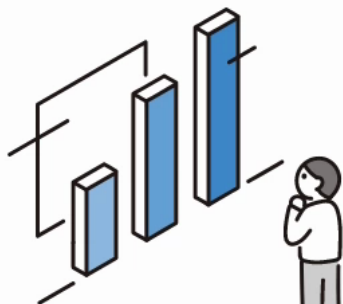
- 評価機関からグリーンボンド原則への適合性について評価を取得・公表
- なお、都は海外の評価機関であるISS-ESGから取得

## 投資家へのIR

- 東京グリーンボンドの内容説明資料（IR資料）の作成・HPでの情報公開
- 投資家説明会などのIR活動の実施

## 金融機関との調整

- 金利や償還期限の条件を金融機関と設定
- 発行後は、投資表明いただいた投資家のお名前や充当結果を公表



# 東京都グリーンボンドの広報・IR活動

～東京グリーンボンドをより深く理解してもらうための取組～

東京都では、コロナの感染拡大後も様々な媒体を通じて、多くの皆様に「東京グリーンボンド」を知っていただくための活動に取り組んでいます。今後も積極的な情報発信に努めてまいります。

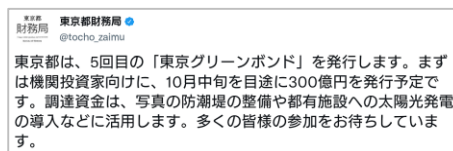
## HP/SNS/動画配信の活用

より多くの方に知っていただくため、HPをはじめ、SNSや動画配信により、常に情報を発信

### HP：都債IR情報



### Twitter：財務局アカウント



### Youtube：【公式】東京都財務局チャンネル



## IR活動

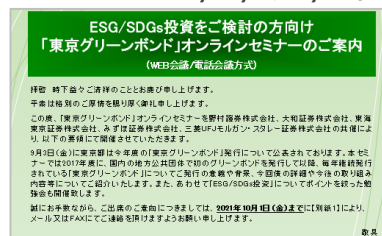
投資家の皆様への理解・浸透を図るため、東京都から直接説明させていただくべく、IR活動を実施

### Webによる個別IRの実施



### オンラインセミナーの実施

R3/10/4、10/6に開催



### 都債説明会の実施

R3/10/8に開催



## 関連イベント／補助金交付

他局が実施する関連イベントでの発信を通じて、東京都全体としてESGの取組を推進

### TOKYO サステナブルファイナンスウィークの開催

R3/10/14-25に開催



### 東京都独自の補助金の交付

R3/10/12に発表

東京都グリーンボンド等促進体制整備支援事業補助金	
東京都は、グリーンボンド等の発行促進を支援するため、発行時の負担軽減の一環として、発行支援を行う事業に要する経費等に補助金を交付します。	
<b>補助金の対象となる経費</b>	
1. 外部レビューの付与に係る経費 2. グリーンボンドフレームワークの検討等に係るコンサルティング経費	
<b>補助金限度額</b>	
10分の2（上限1,000万円）	
※環境省補助金（原則補助率10分の7）と合わせて、発行支援に係る経費の自己負担は10分の2となります。	



The background of the slide is white with several light green, stylized leaf shapes scattered across it. The leaves vary in size and orientation, some pointing upwards and others downwards, creating a natural, organic feel.

## ② 東京グリーンボンドの軌跡

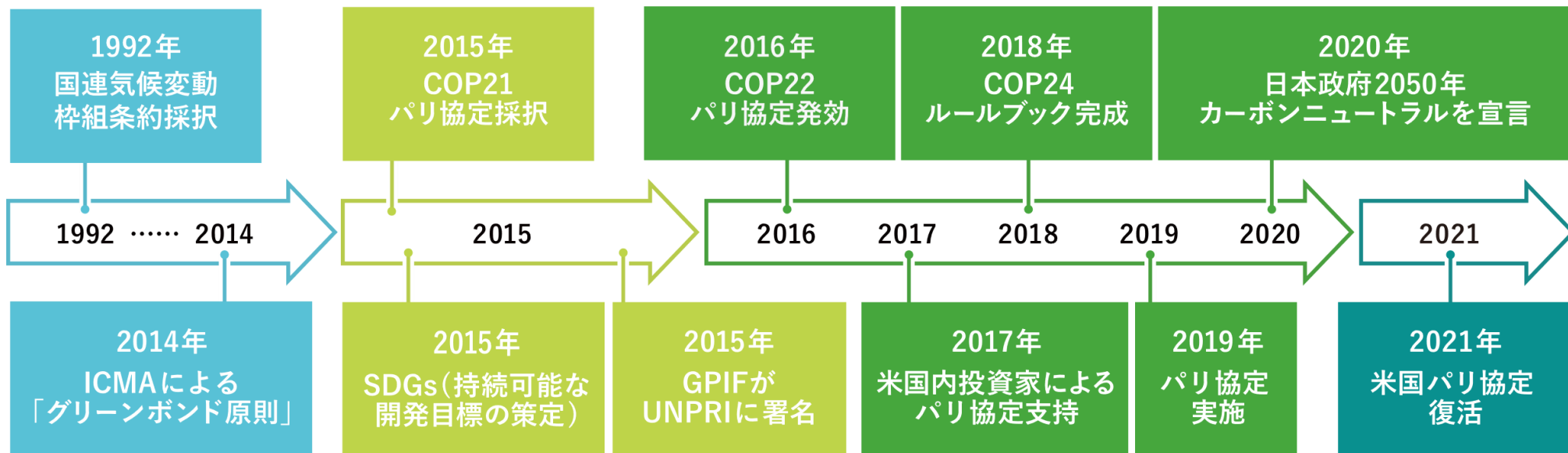
# ESG市場の変遷①

## ～ESG市場の機運の高まり～

近年、資源の枯渇や地球温暖化の影響による気候変動などの深刻化を背景に、企業や自治体などの発行体や投資家、証券会社を中心に、金融においても環境への配慮を意識する機運が世界中で高まっています。

2014年にはICMA（国際資本市場協会）によりグリーンボンド原則（※）が公表されて以降、国内においても環境省から「グリーンボンドガイドライン」が公表されるなど、国内におけるESG債の市場も整備が進み、発行も拡大しています。

2020年10月には日本政府から「2050年カーボンニュートラル宣言」が出され、今後も更なる発展が期待される分野となっています。



（※）「グリーンボンド原則」…グリーンボンドの透明性の確保、情報開示及びレポートを推奨し、市場の秩序を促進させるため、国際資本市場協会（ICMA）が公表している自主的ガイドライン。2014年1月に公表されて以降、逐次改訂がなされている。

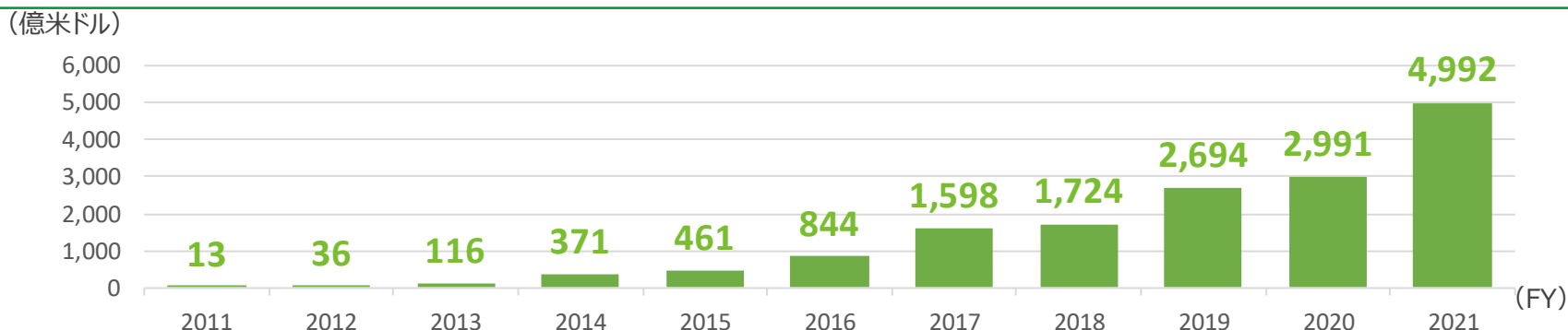
# ESG市場の変遷②

## ～グリーンボンド発行量の拡大～

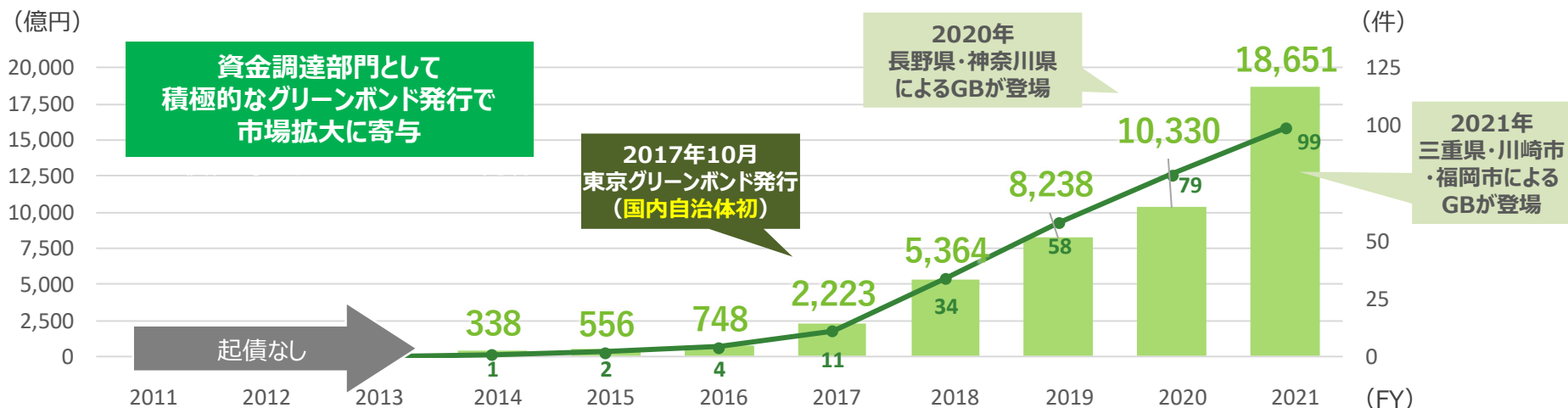
ESG市場の発展に呼応する形で世界のグリーンボンドの発行額は拡大基調で推移し、2020年には世界全体で2,600億米ドルを上回る量のグリーンボンドが発行されました。国内市場においても、2020年には1兆円の大台を突破、今後も更なる拡大が見込まれます。

環境省グリーンボンド発行促進プラットフォームより作成

### 世界のグリーンボンド発行額の推移



### 国内企業等によるグリーンボンドの発行実績



# 東京グリーンボンドの発行実績

## ～東京グリーンボンドの歩み～

SDGs・ESGの潮流本格化に備える形で、2016年12月に東京都はグリーンボンドに先立って住民参加型の環境サポーター債（外貨）を発行しました。その後、2017年度には国内の地方自治体において初となる外部評価を取得したグリーンボンド（東京グリーンボンド）を発行し、その黎明期から市場の発展に貢献してきました。

また、発行額を当初の100億円から、2020年度には200億円（5年債100億円・30年債100億円）、2021年度には300億円（5年債150億円・30年債150億円）と徐々にその規模を拡大させ、東京都債の投資家基盤の拡大のみならず、ESG債市場の更なる発展に取り組んでいます。



※発行額は機関投資家向け（個人投資家向けには例年100億円を発行）

# 東京グリーンボンドの発行実績

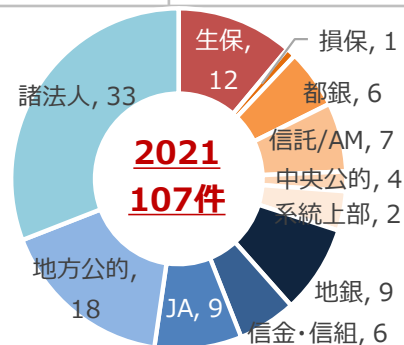
## ～2021年度（第5回）の発行結果～

ESG市場の拡大が見られる中、旺盛な投資家のニーズに応えるべく、発行額を300億円に増額して発行しました。おかげさまで多くの投資家から賛同及び投資表明をいただくことができました。

### 2021（令和3）年度 東京都グリーンボンド発行概要

公債の名称	東京グリーンボンド（5年）第5回	東京グリーンボンド（30年）第5回
発行年限	5年	30年
発行額	150億円	150億円
通貨	円貨	
クーポン	0.001%	0.740%
スプレッド	-	JGB + 5bp
発行価格	100円	100円
条件決定日／発行日	令和3年10月15日（金）／令和3年10月26日（火）	
償還日	令和8年9月18日（金）	令和33年9月20日（水）
取得格付	A+（S&Pグローバル・レーティング・ジャパン）	
外部評価機関	ISS-ESG	
応募倍率	10.5倍超	7.3倍超

投資表明件数  
・業態パイチャート  
※5年・30年合算





# 東京グリーンボンドの発行実績

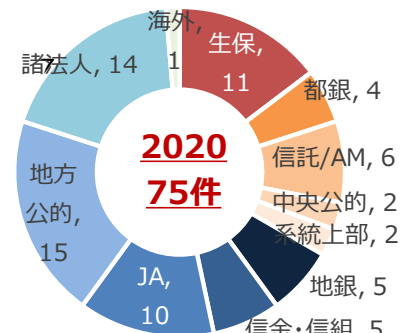
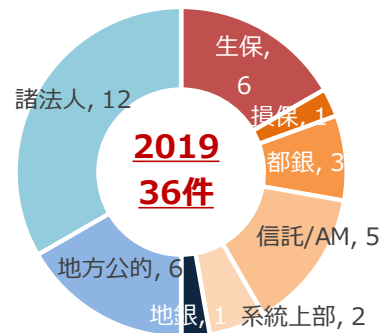
～2017年度（第1回）から2020年度（第4回）の発行結果～


回を経るごとに参加業態や投資表明件数が拡大しており、東京グリーンボンドが投資家の間に着実な広がりを見せていることを示す結果となっています。

## 過去の東京グリーンボンド発行履歴

年度	2017（平成29）年度		2018（平成30）年度		2019（平成31）年度		2020（令和2）年度	
発行年限	5年債	30年債	5年債	30年債	5年債	30年債	5年債	30年債
発行額	50億円	50億円	50億円	50億円	50億円	50億円	100億円	100億円
通貨	円貨		円貨		円貨		円貨	
クーポン	0.020%	0.982%	0.020%	1.004%	0.001%	0.480%	0.020%	0.688%
スプレッド	-	JGB+11bp	-	JGB+10bp	-	JGB+8bp	-	JGB+7bp
発行価額	100円	100円	100円	100円	100円	100円	100円	100円
条件決定日	2017年10月20日		2018年10月19日		2019年10月18日		2020年10月16日	
発行日	2017年10月31日		2018年10月30日		2019年10月30日		2020年10月27日	
応募倍率	約2.5倍	約5.7倍	約4.5倍	約4倍	約4.8倍	約8.9倍	約6.3倍	約9.6倍

投資表明件数  
・業態  
パイチャート  
※5年・30年  
合算





# ③ 東京グリーンボンドの今

# これまでの充当事業のハイライト

## ～東京グリーンボンド発行の成果～

東京グリーンボンドの調達資金はこれまで様々な環境施策に充当され、大きな効果をあげています。

### これまでの充当事業例

- 都有施設のZEB※化推進
- 都有施設・道路の照明のLED化
- 上下水道施設の省エネ化
- 自転車走行空間の整備
- ヒートアイランド現象に伴う暑熱対応
- 環境にやさしい都営バスの導入
- 合流式下水道の改善
- 高潮防御施設の整備
- 東京港・島しょ海岸保全施設整備事業
- 中小河川の整備
- 水辺空間における緑化の推進
- 公園の整備

### 主な環境効果



河川の防潮堤整備延長  
**0.35km**



都道の遮熱性・保水性舗装延長  
**56.7km**



公園整備面積  
**約100,000㎡**

※ Z E B : Net Zero Energy Buildingの略称。建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと

※ 2017年度～2021年度の累計（但し2017-2019年度は実績ベース、2020-2021年度は予算ベース）

## 充当事業とその効果①

### <スマートエネルギー都市づくり>

#### 都府県施設の改築・改修(教育庁)



東京都では、良好な学習環境を維持するため、老朽化した施設の改築・大規模改修工事を計画的に実施しています。

こうした改築工事等を行う際、再生可能エネルギーの積極的な活用により環境負荷を軽減するため、併せて太陽光発電設備を設置しています。

施設内の使用電力のうち、その一部に太陽光エネルギーを活用し、購入電気使用量の削減に役立っています。



府中東高校

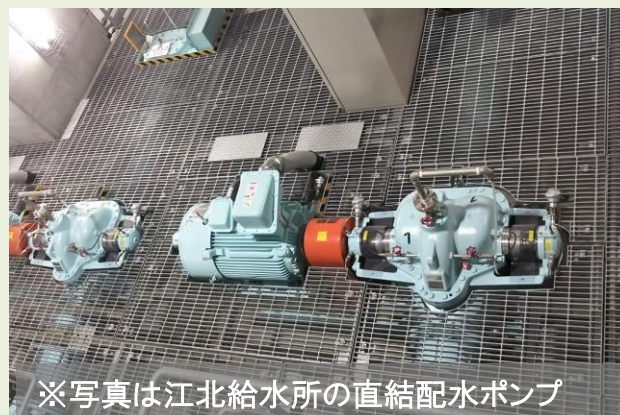
#### 事業の環境効果

**1,107,138 kwh**

都立学校の改築・改修による再生エネルギー使用量 (R3予定)

### <スマートエネルギー都市づくり>

#### 上下水道施設の省エネ化(水道局)



※写真は江北給水所の直結配水ポンプ

東京都では、省エネ化によりCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、給水所等の施設整備に併せて直結配水ポンプを導入しています。

上北沢給水所は、事故時や震災時においても、世田谷区、杉並区の一部へ安定して配水するため新設している給水所です。

浄水場から送られてきた給水所配水池入口の圧力を配水ポンプの動力に有効活用することで、CO<sub>2</sub>排出量を削減することができます。

#### 事業の環境効果

約 **7,532,000 kwh**



上北沢給水所

水道施設の省エネ化によるエネルギー削減量 (年計)

R3年度末時点



## 充当事業とその効果②

### <生活環境の向上>

#### ヒートアイランド現象に伴う沿道の環境改善（建設局）



東京都では、ヒートアイランド対策として、センター・コア・エリア（※）を中心とした重点エリアにおいて、路面温度の上昇を抑制する遮熱性舗装などを路面補修工事に併せて実施しています。

路面に塗布した遮熱材が赤外線を反射することで、舗装への蓄熱を防ぎ、路面温度の上昇を最大で8℃程度抑制することができます。

（※）おおむね首都高速中央環状線の内側の地域

### 事業の環境効果

# 65.656 km

都道における遮熱性・保水性舗装の整備延長

（R3までの累積（予定））



よつやつのはず  
四谷角筈線

### <生活環境の向上>

#### 環境にやさしい都営バスの導入（交通局）



都営バスは、区部中心部～下町地域、江戸川区の一部、多摩地域の一部で運行しています。

環境問題への関心が高まっている現在、東京都では環境対策の一環として、低公害バスの導入を進めています。

バス車両の更新時には、最新の排出ガス規制に適合した車両を導入し、粒子状物質（PM）や窒素酸化物（NOx）の削減に努めています。

### 事業の環境効果

NOx（窒素酸化物） 91% 区部中心部等

PM（粒子状物質） 96%

排出ガス規制対象物質削減率





## 充当事業とその効果③

### <自然環境の保全> 公園の整備（建設局）



東京都は、水と緑の骨格軸を形成し緑の拠点となる都市公園の造成を実施しています。

みどりと水に恵まれた舎人公園は、現在も造成が進み、最終的な計画では、69.5haに及ぶ予定です。現在はスポーツ施設などが整備された約64.5haを開園しています。

都民のやすらぎの場になるとともに、都市環境の改善や防災空間の確保などの役割を担っています。

### 事業の環境効果

**152,227 m<sup>2</sup>**

都立公園の整備面積（R3までの累積(予定)）



とねり  
舎人公園

### <自然環境の保全> 水辺空間における緑化の推進（建設局）



東京都では、「豊かな自然環境の創出・保全」を目的として、水辺空間における緑化を推進しています。

乞田川では、植物が生育できる構造の緑化ブロックなどによる護岸整備を行い、水辺空間の緑化を推進しています。

緑化された空間は、CO<sub>2</sub>削減効果が期待されるほか、様々な植物が生育し生物の生息場となるとともに、地域の住民の憩いの場となっています。

### 事業の環境効果

**25,839 m<sup>2</sup>**

都管理河川における護岸の緑化面積（R3までの累積(予定)）

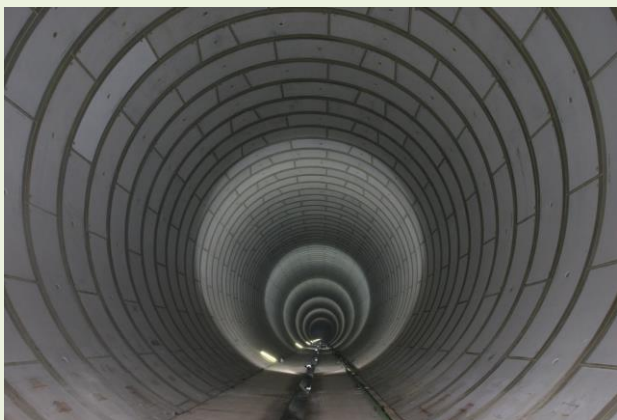


こったがわ  
乞田川

## 充当事業とその効果④

### <気候変動への対応>

#### 中小河川の整備（建設局）



東京都では、激甚化・頻発化する豪雨から都民の命と暮らしを守るため、豪雨に対して大きな効果を発揮する調節池の整備を進めています。

そのうち、環状七号線地下広域調節池は、大雨の時に神田川、善福寺川、妙正寺川、石神井川、白子川の水を引き入れて水害から街を守るための施設です。

1時間あたり50ミリを超える降雨に対して河川からの氾濫を減らすなど、浸水被害の軽減に大きな効果を発揮しています。

#### 事業の環境効果

約 **1,056,500 m<sup>3</sup>**

調節地の整備  
(環状七号線地下広域調節池等)



R3年度整備中の調節池の貯留量合計

### <気候変動への対応>

#### 東京港・島しょ海岸保全施設整備事業（港湾局）



東京都では、台風や冬季風浪時に、既設離岸堤を超えた波により背後崖地や海浜の侵食が進む状況を解消するため、既設離岸堤の改良を推進しています。

新島・若郷漁港海岸の背後には、若郷地区の集落が形成されており、島民の生命・財産を守る必要があります。

台風や冬季風浪などによる海浜の侵食を防ぎ、背後の集落や施設を防護することができます。

#### 事業の環境効果

**1.1 km**

若郷漁港(新島)



伊豆諸島における離岸堤等の整備延長 (R3予定)



# 過去の充当事業の“今” ①

東京都公文書館 都府施設の改修・改築（H29～R1年度充当事業）

東京都公文書館（旧）



before

東京都公文書館（新）



after

## アクセス

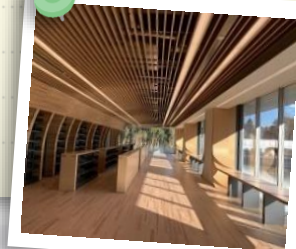
東京都国分寺市泉町

2-2-21

JR中央線・武蔵野線

「西国分寺」駅徒歩8分

1階エントランスホールや  
閲覧室の床や壁面には、多  
摩産材を使用することで、  
木のぬくもりを感じるこ  
のできる空間となってい  
ます。



東京都公文書館は、歴史的資料として重要な価値を有する公文書等を、都民共通の財産として後代に伝えるため、これを保存し、利用に供する場です。東京グリーンボンドの資金を活用し、ZEB(※)化の実証建築として、外壁の二重化や断熱化、太陽光発電設備など、最新の省エネ・再エネ技術を導入しました。東京都公文書館では、設計段階において年間で約65万kWhのエネルギー削減が達成され、このうち再生可能エネルギー使用量は約27万kWhに上ります。これらの省エネ技術を活用しながら、書庫の最適な温湿度管理を行なっています。

(※)ZEB:Net Zero Energy Buildingの略称。建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを指した建物のこと。

# 過去の充当事業の“今” ②

平和島運河 東京港・島しょ海岸保全施設整備事業（H30～R1年度充当事業）

平和島運河（建設前）



平和島運河（現在）



アクセス

昭和島南緑道公園

昭和島一丁目7番2号

東京モノレール昭和島駅

下車徒歩10分

海岸保全施設整備計画

・計画期間

10年間(H24-R3)

・整備概要

防潮堤約17km

東京都では、高潮や津波から都民の生命、財産を守り、首都としての中枢機能を確保するために、東京港海岸保全施設整備計画を定め、防潮堤の整備を進めています。防潮堤は、津波や高潮等から市街地を防護するための施設です。写真の平和島運河に整備された緩傾斜式防潮堤では、斜面の緑化や、水面に近づくことができる階段等を設け、自然環境や利用面に配慮し整備をしています。



## 4 投資家の皆様のお声



# 投資表明の状況①

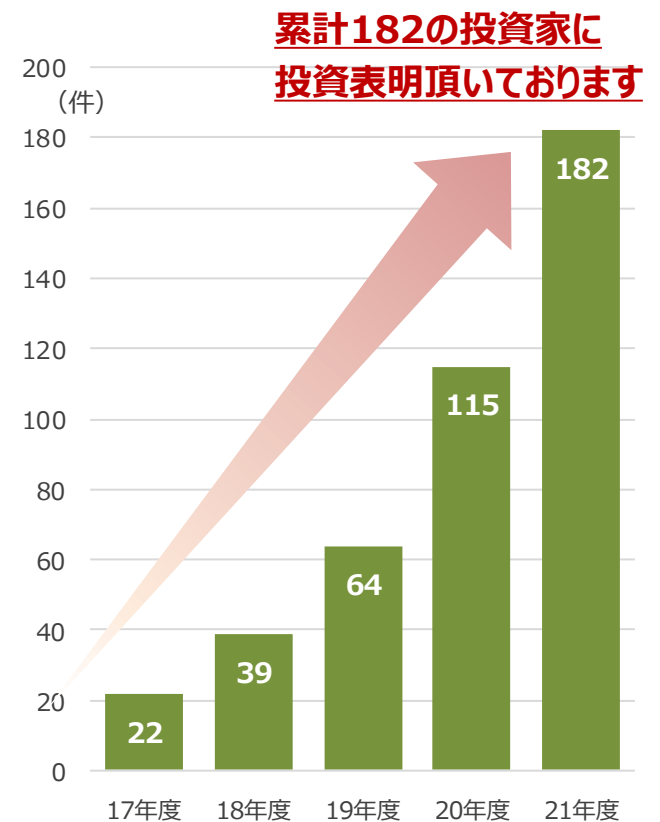
～これまで東京グリーンボンドに賛同して下さった投資家の皆様～

過去5回のグリーンボンドを通じて、延べ182件の投資家に賛同・投資表明をいただきました。  
(東京都HPにて当該投資家様の社名を掲載しています。)

投資家名	回数	投資家名	回数
<b>&lt;生命保険会社&gt;</b>		<b>&lt;都銀&gt; (続)</b>	
RGA リンシュアランスカンパニー	2	株式会社大和ネクスト銀行	1
朝日生命保険相互会社	1	株式会社みずほ銀行	5
アフラック	1	株式会社三井住友銀行	1
住友生命保険相互会社	5	株式会社三菱UFJ銀行	5
ソニー生命保険株式会社	1	<b>&lt;信託銀行&gt;</b>	
SOMPO ひまわり生命保険株式会社	1	アセットマネジメントOne 株式会社	3
第一生命保険株式会社	4	日証金信託銀行株式会社	1
大樹生命保険株式会社	1	野村信託銀行株式会社	1
大同生命保険株式会社	5	三井住友信託銀行株式会社	1
太陽生命保険株式会社	3	三菱UFJ信託銀行株式会社	3
東京海上日動あんしん生命保険株式会社	3	<b>&lt;投信・投資顧問&gt;</b>	
日本生命保険相互会社	3	東京海上アセットマネジメント株式会社	2
フコクしんらい生命保険株式会社	1	パインブリッジ・インベストメント株式会社	1
富国生命保険相互会社	4	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	2
三井住友海上あいおい生命保険株式会社	2	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	4
みどり生命保険株式会社	2	明治安田アセットマネジメント株式会社	5
ライフネット生命保険株式会社	1	<b>&lt;系統上部&gt;</b>	
<b>&lt;損害保険会社&gt;</b>		JA 共済連 (全国共済農業協同組合連合会)	3
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1	信金中央金庫	5
日新火災海上保険株式会社	1	<b>&lt;中央公的&gt;</b>	
<b>&lt;都銀&gt;</b>		株式会社かんぽ生命保険	3
auじぶん銀行株式会社	1	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター	1
株式会社イオン銀行	2	独立行政法人環境再生保全機構	1
株式会社SBJ銀行	4	独立行政法人造幣局	2
株式会社新生銀行	1	防衛省共済組合	1
株式会社セブン銀行	1		

(五十音順、回数 = これまでに投資表明頂いた回数)

## 投資表明件数の累計



# 投資表明の状況②

～これまで東京グリーンボンドに賛同して下さった投資家の皆様～

投資家名	回数	投資家名	回数	投資家名	回数	投資家名	回数
<b>&lt;地銀&gt;</b>		<b>&lt;農業協同組合 (JA) &gt; (続)</b>		<b>&lt;保証協会&gt;</b>		<b>&lt;事業法人&gt;</b>	
株式会社関西みらい銀行	1	兵庫南農業協同組合	2	長野県信用保証協会	1	家の光製本梱包株式会社	1
株式会社京都銀行	1	福岡京築農業協同組合	2	兵庫県信用保証協会	2	株式会社 旺栄	1
株式会社滋賀銀行	1	三原農業協同組合	1	北海道信用保証協会	1	株式会社地域環境計画	1
株式会社十六銀行	1	<b>&lt;地方公共団体&gt;</b>		山梨県信用保証協会	1	株式会社 ティムコ	1
株式会社仙台銀行	1	愛知用木土地改良区	2	<b>&lt;学校法人&gt;</b>		株式会社東海理化電機製作所	1
株式会社第四北越銀行	1	青森県外ヶ浜町	1	学校法人 京都文教学園	1	株式会社富田製作所	1
株式会社筑波銀行	2	明日香村	1	学校法人工学院大学	2	株式会社ココソー	1
株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ	3	恵那市	1	学校法人 聖心女子学院	1	杏林製菓株式会社	1
株式会社名古屋銀行	1	葛飾区	1	学校法人東京農業大学	1	ごくみん共済 coop <全労済>	3
株式会社 みなと銀行	1	可児市	2	学校法人立正大学学園	1	JMSA 福祉企業年金基金	1
株式会社横浜銀行	1	鹿沼市	1	国立大学法人東京工業大学	1	シンド静電気株式会社	1
株式会社 琉球銀行	2	蒲郡市	2	<b>&lt;一般財団法人・社団法人&gt;</b>		社会福祉法人岐阜市社会福祉協議会	1
<b>&lt;信用金庫&gt;</b>		川辺町	1	一般財団法人 大阪大学後援会	1	社会福祉法人豊年福祉会	1
大阪商工信用金庫	1	国分寺市	1	一般財団法人海外邦人医療基金	1	全国漁業信用基金協会	1
鹿沼相互信用金庫	1	鯖江市	1	一般財団法人コー・ジェネレーション・エネルギー高度利用センター	1	損害保険労働組合連合会	1
川崎信用金庫	1	品川区	1	一般財団法人全国自治協会	1	大同生命健康保険組合	1
観音寺信用金庫	1	下野市	1	一般財団法人 東京港湾福利厚生協会	1	中間貯蔵・環境安全事業株式会社	3
湘南信用金庫	1	関市 (岐阜県)	1	一般財団法人日本ダム協会	1	東京高速道路株式会社	1
城南信用金庫	1	大東市	1	一般財団法人 日本不動産研究所	1	東京西南私鉄連合健康保険組合	1
鶴岡信用金庫	1	東員町	2	一般財団法人福井県教職員互助会	1	東京都下水道サービス株式会社	1
飯能信用金庫	1	南城市	1	一般財団法人 和歌山環境保全公社	1	長野県農業信用基金協会	1
宮古信用金庫	1	箱根町宮城野財産区	1	一般社団法人日本貿易会	1	日本コープ共済生活協同組合連合会	5
<b>&lt;信用組合&gt;</b>		深谷市	1	<b>&lt;公益財団法人・社団法人&gt;</b>		日本再共済生活協同組合連合会	2
大東京信用組合	2	見附市	1	公益財団法人大阪コミュニティ財団	1	日本電技株式会社	1
新潟大米信用組合	1	美濃加茂市	1	公益財団法人鹿児島県林業担い手育成基金	1	日本プロセス株式会社	1
<b>&lt;農業協同組合 (JA) &gt;</b>		<b>&lt;共済組合&gt;</b>		公益財団法人 埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター	1	浜銀TT 証券株式会社	1
淡路日の出農業協同組合	1	岡山県市町村職員共済組合	1	公益財団法人自動車リサイクル促進センター	4	ヒロセ電機株式会社	1
石川がほく農業協同組合	1	神奈川県市町村職員共済組合	1	公益財団法人しまね農業振興公社	1	マックス株式会社	1
大井川農業協同組合	2	神奈川県市町村職員共済組合	1	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター	1	明豊ファシリティアークス株式会社	2
大阪東部農業協同組合	1	群馬県市町村職員共済組合	2	公益財団法人 東京都防災・建築まちづくりセンター	1	山形県市町村職員退職手当組合	1
芸南農業協同組合	1	埼玉県市町村職員共済組合	2	公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団	1	理研計器株式会社	1
越谷市農業協同組合	1	島根県市町村職員共済組合	1	公益財団法人名古屋市中心企業共済会	1	<b>&lt;海外投資家&gt;</b>	
さいかつ農業協同組合	1	徳島県市町村職員共済組合	1	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	1	Swisscanto Invest by Zurich Cantonal Bank	1
J A板野郡	1	長崎県市町村職員共済組合	1	公益財団法人日本食肉消費総合センター	1		
常総ひかり農業協同組合	1	福井県市町村職員共済組合	1	公益財団法人日本生命財団	1		
世田谷目黒農業協同組合	1	和歌山県市町村職員共済組合	2	公益財団法人 広島県私立幼稚園連盟	1		
東京南農業協同組合	1			公益財団法人福島県文化振興財団	1		
南駿農業協同組合	1			公益社団法人 沖縄県地域振興協会	2		
能登わかば農業協同組合	1						
花巻農業協同組合	1						

(五十音順、回数 = これまでに投資表明頂いた回数)

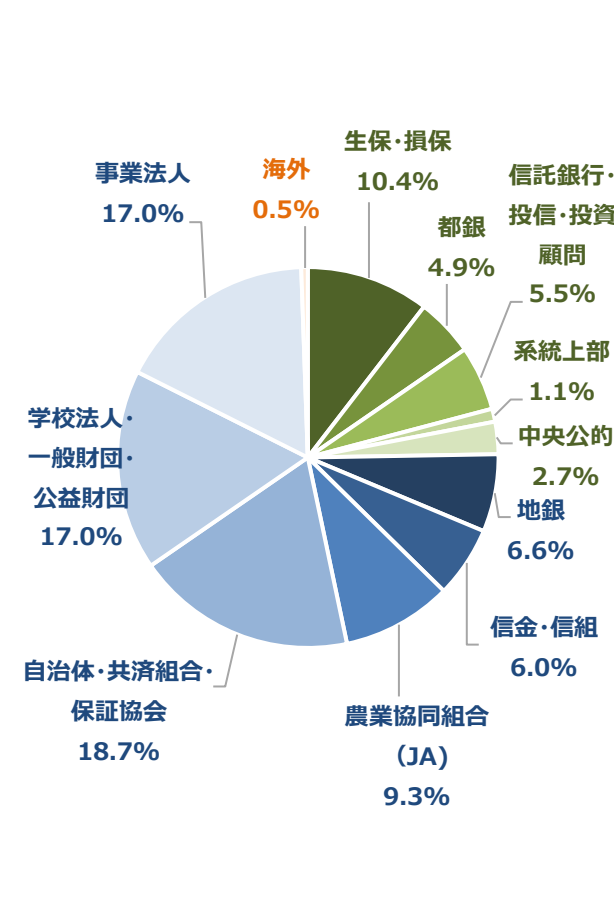
# 投資表明の状況③

～投資いただいた皆様の所在地・業態別パイチャート～

都内を中心に、全国の幅広い地域・業態の投資家の皆様から投資表明をいただいております。

## 地方投資家の投資表明の分布状況

## 投資表明業態別パイチャート



# 投資家の皆様からのお声

## ～東京グリーンボンドの魅力・期待すること～

※証券会社を通じて匿名で聞き取りを行いました。

「東京グリーンボンド」につき、どのような部分に賛同し、新規または継続でのご購入に至ったのでしょうか？また、購入の背景を教えてください。

- 『社としてSDGsへの取り組みを目標化して取り組む中で、地方債の中でも財政健全性が高い東京都のグリーンボンドは是非とも購入したいと判断したため』（生保）
- 『自社が都内に位置しており、立地面で親和性があることに加え、環境施策への先進的な取り組みに共感したため』（事業法人）
- 『日本を代表する自治体である東京都のグリーンボンドに投資表明することで、他地域における経済活動やESG債の発展、ひいては日本経済・日本社会の更なる発展に繋がると感じたため』（都銀・事業法人）

地元企業様における「自社立地との親和性」に加え、「他地域への波及」も期待されております

他の発行体が発行するグリーンボンドと比較して、「東京グリーンボンド」の魅力はどこにあると考えられるでしょうか？

- 『東京都というネームバリューがあるうえ、年限ニーズもある30年債を起債してもらえるのはありがたい。信用力も十分であり、30年でも安心して購入できる』（生保）
- 『国内ESG債市場におけるパイオニア的存在であるとともに、増額を交えながらの継続発行によるESG債市場へのコミットメント等、ESG債市場の発展に向けた姿勢は、他団体と違い東京都が独自に持つ魅力と考えている』（都銀）
- 『しっかりとした評価機関からの認証を得られており、この点で投資に対する内部説明が行いやすいと感じている』（事業法人）

「年限や財政運営上の安心感」「しっかりとした認証機関からの評価」をご評価いただいております

ESG 市場の更なる発展に向けて、東京グリーンボンドに期待することはあるでしょうか？

- 『環境に作用されない継続発行や発行額の増額』（生保・都銀）
- 『丁寧かつ安心感のある起債運営の実施』（生保）
- 『年限の多様化』（事業法人）

今後も継続的な発行や丁寧な起債運営を継続して参ります

**東京都では、皆様からの声を踏まえつつ、  
今後も東京グリーンボンドの発行に取り組んでいきます**





# お問い合わせ先



TOKYO  
METROPOLITAN  
GOVERNMENT

東京都

## 東京都財務局主計部公債課

TEL: 03-5388-2681

E-mail: S0000063@section.metro.tokyo.jp

ホームページ  
アドレス

東京都 <http://www.metro.tokyo.jp/>

都債 <http://www.zaimu.metro.tokyo.jp/bond/ir/ir.html>

Twitterアカウント

@tocho\_zaimu

- 本資料は、都債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、東京都の財政状況等について説明することを目的とするもので、特定の債券の売出しまたは募集を意図するものではありません。
- 本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料の中で示された将来の見通しまたは予測は、東京都として現時点で妥当と考えられる範囲内にあるものの、確実な実現を約束するものではありません。
- 東京都は、本資料の論旨と一致しない他のレポートを発行している、或いは今後発行する場合があります。本資料の利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。